


# Kandai Style

2018.1 Vol.465  
関西大学通信



祝 全日本選手権優勝！  
歴代の冬季五輪  
出場者を紹介します！



祝

# 全日本選手権

# 優勝!



宮原知子さん

宮原知子さんがつい平昌オリンピックのフィギュアスケート女子日本代表の座を射止めました。けがにもめげず焦る心を抑えながら、独自のメニューで昨年11月に行われたグランプリシリーズ初戦・NHK杯で戦列復帰し5位に入賞。続くグランプリシリーズ最終戦・アメリカ大会ではミスをわずかにとどめ、自己ベストに迫るトータル214.03点で見事優勝。グランプリシリーズでは2015年のNHK杯以来の2年ぶりとなる優勝を飾りました。その後「まさか出場できるとは思っていませんでした」と話すグランプリファイナルにも出場。5位に入賞を果たします。

宮原さんの試練は昨季後半から苦しめられた左股関節の疲労骨折でした。

休養期間はリハビリに集中し、氷には全く乗らず、気分を変えるために髪をばっさり切ったり、音楽や映画鑑賞をして過ごしたそうです。スケート一筋のそれまでの生活とはガラリとかわったペースで過ごしたそうです。

続く第86回全日本フィギュアスケート選手権大会で優勝し、その勢いは衰えることなくオリンピックという最高峰の舞台への挑戦の切符を手に入れました。



宮原知子 (みやはら さとこ)

1998年3月京都府生まれ。文学部2年次生。体育会アイススケート部所属。日本スケート連盟特別強化選手。2016年関西大学高等部卒。主な成績は、15年世界選手権2位、14年～17年全日本フィギュアスケート選手権大会優勝。15年、16年グランプリファイナル2位、四大陸フィギュア選手権2016優勝、17年グランプリシリーズ(アメリカ大会)優勝など。

さらなる飛躍を! 世界最高峰の舞台でメダルを目指す!

歴代の

# 冬季五輪

# 出場者を紹介します!

①卒業年度 ②学部・研究科 ③成績



佐々木陽子さん (三宅)

①1999年 ②文学部  
③2002年アメリカ・ソルトレークシティ五輪の女子ハーフパイプで8位入賞を果たす。



佐藤信夫さん

①1964年 ②経済学部  
③1960年アメリカ・スコーパーレー五輪では14位、1964年オーストリア・インスブルック五輪では8位入賞を果たす。



佐藤久美子さん (大川)

①1968年 ②商学部  
③1964年オーストリア・インスブルック五輪では13位、在学中の1968年フランス・グルノーブル五輪では8位入賞を果たす。



高橋大輔さん

①2008年 ②文学部  
③在学中の2006年イタリア・トリノ五輪に出場し8位入賞、2010年カナダ・バンクーバー五輪で銅メダルを獲得。2014年ロシア・ソチ五輪では6位入賞を果たす。



織田信成さん

①2015年 ②文学研究科  
③2009年エリック・ボンパール杯、中国杯とグランプリシリーズで連勝。2010年カナダ・バンクーバー五輪に出場し7位入賞を果たす。



町田樹さん

①2015年 ②文学部  
③在学中にグランプリシリーズでメダル獲得・初優勝。2014年ロシア・ソチ五輪に出場し5位入賞を果たす。



### Q1 第1回の冬季オリンピックが 開催された国はどこでしょう？

- ① アメリカ      ④ 中国
- ② スウェーデン    ⑤ 日本
- ③ フランス

答え ③フランス      正解率 19%

### Q3 1998年に日本で2度目となる 冬季オリンピックが 開催された都市はどこでしょう？

- ① 旭川市      ③ 新潟市
- ② 札幌市      ④ 長野市

答え ④長野市      正解率 69%

### Q5 オリンピックの開会式で行う 入場行進で、一番初めに 入場する国はどこでしょう？

- ① アメリカ      ④ フランス
- ② ギリシャ      ⑤ 中国
- ③ スイス

答え ②ギリシャ      正解率 63%

### Q7 関大在学中に、冬季オリンピック に出場した人は何人でしょう？

- ① 1人      ④ 4人
- ② 2人      ⑤ 5人
- ③ 3人

答え ⑤5人      正解率 15%

### Q2 アジアで初めて 冬季オリンピックが 開催された都市はどこでしょう？

- ① ソウル      ④ 平昌
- ② 札幌      ⑤ 北京
- ③ 長野

答え ②札幌      正解率 40%

### Q4 オリンピックの 五輪マーク、青、黄、黒、緑と あと一色は何色でしょう？

- ① 金      ④ 茶
- ② 紫      ⑤ 橙
- ③ 赤

答え ③赤      正解率 94%

### Q6 オリンピックの開会式で 登場する鳥はどれでしょう？

- ① カワセミ      ④ ハト
- ② ツバメ      ⑤ ワシ
- ③ ハッピーバード

答え ④ハト      正解率 72%

### Q8 自国でのオリンピック(夏季・冬季) の開催について賛成ですか？ 反対ですか？

- ① 賛成      ② 反対

213人      65人

## みんなで一緒に考えよう。 関大誌上教室

アンケート期間：  
10月23日～11月10日  
対象：関大生  
回答者：278人

# 五輪

# クイズで 考えてみよう！ 冬季

皆さんに、  
冬季オリンピックの歴史などについて  
クイズ形式で回答してもらおうと、  
自国でのオリンピック開催について  
意見を聞きました。

### Q9 Q8で「賛成」と回答した方にお聞きします。 「賛成」の理由を教えてください。

私は台湾の出身です。もし、台湾でオリンピックを開催することが  
できるのなら、台湾は国として国際社会に認められることになり  
ます。そのため賛成します。(文学部4年次生)

多くの国からたくさんの方が日本にやって来るので、世界に日本  
を知ってもらえるチャンスだと思うからです。また、選手も自国で  
の開催となるとより気合いが入ると思います。(文学部1年次生)

オリンピックという大きな大会が自国で行われることに誇りを感じ  
るからです。(文学部1年次生)

オリンピックの開催には多額の費用がかかりますが、開催地の魅力  
を世界に発信することができることも新たな観光地になり、日  
本経済の活性化にもつながると考えたからです。(商学部4年次生)

スポーツの楽しさ、感動を日本から世界へ発信できるのは素敵なか  
ら。また、経済発展につながるからです。(商学部3年次生)

日本でスポーツへの関心が高まるからです。(社会学部2年次生)

観光客の増加による経済効果が見込め、国力を示す機会でもあると思  
います。また、多くの外国人観光客の来日により、日本人の国際感覚が磨  
かれるきっかけになるかもしれないと思うからです。(外国語学部4年次生)

オリンピック開催を契機として、公共交通機関の整備が行われる  
ことや、バリアフリー化、ユニバーサルデザインの導入が進められ  
ることに賛成だからです。(環境都市工学部4年次生)

私はハンドボールのプレーヤーです。オリンピックが開催されると  
世界トップレベルのプレーを間近で見ることができるからです。日  
本国内ではハンドボールの試合を取り扱うメディアが少なく、オリ  
ンピック中は国内でもヨーロッパのハンドボールを見られるのは  
非常にうれしいです。(化学生命工学部4年次生)

地域の雇用増加など、経済活性化につながると思います。(法学研究科M1)

文化外交として欠かせない活動だと思います。(文学研究科M1)

### Q10 Q8で「反対」と回答した方にお聞きします。 「反対」の理由を教えてください。

自国でのオリンピックの開催は盛り上がりますが、その分お金が  
かかります。東日本大震災の復興もまだ完全ではないし、もっとお  
金を使うべきところがあると思うからです。(法学部1年次生)

期待はありますが、反対です。理由は3点。1点目に経費がかかる  
から。また、オリンピック後に景気が悪くなる気がするから。3点目  
に、今後、近畿地方には誘致がなさそうなのでテレビの中の話に  
思えるからです。(文学部1年次生)

近年ではオリンピック誘致にメリットがないように感じます。確かに、産  
業振興などにはつながりますが、負担の方が大きいような気がしま  
す。また、テロなどの危険性も高まると思うからです。(文学部4年次生)

しっかり学習しているわけではないので何とも言えませんが…オリンピッ  
クよりも先にやるべきことがたくさんあると思います。(文学部1年次生)

他の開催国を見ても、オリンピックのために建設した施設が「負の  
遺産」と化している例もあり、国の財政状況が厳しく、少子高齢化  
も進んでいる中では、社会保障や福祉にお金を使うべきである  
と思います。(政策創造学部4年次生)

開催費用がかかりすぎるため。開催するのであればしっかりと  
計画を立て、できる限り低コストに抑える努力をしてもらいた  
いです。(政策創造学部4年次生)

オリンピック開催のために、さまざまな施設の建設・改装工事を  
行うための資金としてお金を使うのであれば、もっと他の事業(教  
育設備、公共の福祉)に使うべきだと感じるからです。(総合情報学部2年次生)

国の借金や北朝鮮問題の方が大事なのに、オリンピックを優先す  
る理由がわかりません。(システム理工学部4年次生)

オリンピックが純粋にスポーツの祭典としてではなく、経済面や環  
境面などスポーツ以外のところで話が進んでいるような気がしま  
す。マスコミが日本の試合ばかり取り上げて他国の試合やマイナ  
ーなスポーツは取り上げない、パラリンピックも報道量が少ない、そ  
んな国で開催してほしくないと思います。(環境都市工学部4年次生)

開催地の美しい景観を保てないのではないかと危惧しています。  
新たな施設を建設するための森林伐採、ポイ捨てや排泄物による  
汚染が増え、整備が追いつかないと考えます。(理工学研究科M1)

利権者がもうかるだけだと思います。マスコミはスポーツをビジ  
ネスの視点でしか扱わず、国民は勝利至上主義でドラマ性や見栄  
え重視でスポーツを消費する。巨額をかけた巨大五輪イベントに  
よって、地道に積み上げてきた日本のスポーツ文化醸成からまた  
遠ざかってしまうような気がします。(人間健康研究科D1)

## PROFESSOR'S COMMENTS

### 人間健康学部 杉本厚夫教授

1964年の東京オリンピックは、国民が敗戦からの自信を取り戻し、世界進  
出のきっかけをつくり、経済的発展を遂げるという文化的レガシー(遺産)を残  
しました。賛成派の意見はこのときの価値を評価したものです。しかし、1970  
年代になると経済的な負担から、開催都市として手を挙げるところはなくなり

ました。その危機的状況を救ったのは、アマチュアリズムを排除し、ビジネスに  
大きくかじを切った1984年のロサンゼルスオリンピックでした。ところが反対派  
の意見にもあるように、そのビジネスが一部の利権者に独占され、逆に国の経  
済負担が肥大化し、誘致の不正や選手のドーピング、さらには環境問題など  
の負のレガシーを生み出し、オリンピック自体の在り方が問われるようになり  
ました。2012年のロンドンオリンピックが環境問題と都市問題の解決に成功した  
ように、2020年の東京オリンピックが新たな価値観を示し、どんな豊かな文化  
的レガシーを残せるのかを見守りたいと思います。

## 次回のテーマは…「働く人のためのワークルール」

3月号は卒業記念特別号ということで、アルバイトをしている(していた)皆さんや、4月から社会人となる方々に労働法  
についてクイズを実施します。



エンターテインメント業界／芸人

## よしもとクリエイティブ・エージェンシー ゆりやんレトリバアさん

奈良県立高田高等学校出身  
2013年文学部卒業

これまでに学んできたあらゆることが  
今の活動につながっています。

コントで流ちょうな英語を使い、映画のシーンの再現など、特技を組み合わせた芸風で人気の女性芸人ゆりやんレトリバアさん(本名・吉田有里さん)。何でもこなす多彩な芸風は、幼い頃に養われました。幼少期からピアノと習字を習い、吉本新喜劇が大好きで小学校の頃からまねをしていました。しかし、性格は意外にも「緊張しやすく内弁慶」。そんな彼女の初舞台は高校3年生の文化祭。緊張しながらも友人の声援に背中を押されて一人で舞台上上がり、大爆笑を取ったそうです。

当時から「芸人になりたい」という夢を持っていましたが、その半面、大学に進学する必要性も感じていたので、進学を決めました。英語と映画が好きだったため、映像文化専修がある文学部を目指し合格。入学後は、実家から往復6時間かけて通う規則正しい生活を送りながら、ダンスサークルに所属し、交友の輪を広げます。通学途中には、DVDを鑑賞して洋画のせりふをまねることに熱中。真面目に授業に出席しながらも、夢を諦めませんでした。3年次の時、両親は「好きな道に進んでもいいけれど、挫折した時のことも考えておくように」とアドバイス。3年次のうちに必要な単位を取ることを決意します。そんな彼女の座右の銘は「親の意見と茄子の花は千に一つも仇はない」。実のならない花は多いけれど、花が咲けば必ず実のなるのが茄子。親の忠告に間違いはないという意味です。

2つのことを同時にできないタイプだと分かっていたため、ゼミだけを残した4年次に、吉本興業の養成所NSC大阪に入学。一人芸の楽しさに目覚め、スケジュールで非日常的なネタを披露していましたが、しっくりきません。そんな中「R-1ぐらんぷり」への出場が決まり、ネタを考えていた時に、ふとアカデミー賞授賞式で受賞者が感激のあまり話せなくなる状況を思い出します。日本語を英語っぽくしゃべるネタの誕生でした。これがうけた時、自分の得意分野を生かしたネタに手応えを感じたそうです。

「これまでに学んできたことが今につながっています。学生時代に役に立つのかなと思ったことも仕事に活かされています」と話し、仕事上で開大卒の方とのつながりもあるので、開大に進学して良かったと感じているそうです。

最後に「経験したことは何でも役に立ちます。視野を狭めずいろいろなことに挑戦してほしいです。『(目標を)探しいー! 落ち着いていきやー!』と一押しギャグとポーズで締めくくってくれました。

ある1日の  
スケジュール

- 5:20 自宅を出発
- 6:00 新幹線で東京へ移動
- 8:30 東京に到着し移動
- 9:00 取材イベントに参加
- 12:00 昼食
- 15:00 新幹線で大阪へ移動
- 17:30 大阪に到着し移動
- 19:00 舞台に出演
- 23:00 ラジオ番組に出演



必須アイテムは、女子力の高いピンク色の Mac のノートパソコン。本人いわく「憧れのアメリカ人をまねて購入。これでネタを書いているふりをしている」のだとか。



# VIVA!!

# 学び易



人間健康学部 人間健康学科

## 「専門演習1」

わだづみ  
弘原海剛 教授

### 東京オリンピックや高齢化社会を視野に入れ人々の「健康づくり」に貢献する。 実験を通じて、チームワークの大切さと実直さを育てる。

「健康づくり」の研究に取り組む弘原海剛教授のゼミでは、「運動機能が向上するスポーツ飲料の開発」と「認知症予防に効果的な体操づくり」という2つのテーマを軸とした実験を1グループ当たり学生5人、計5グループの編成で行っています。共に運動生理学的な根拠の実証に成功している研究です。

飲料開発グループは、2020年の東京オリンピックに向けて、自然由来の糖であるトレハロースの機能性に着目した開発を進めています。マラソンを想定し、目標は運動パフォーマンスを向上させることです。体力の限界を超えても持久力を維持できることを検証するために、学生が被験者としてマシンを使い激しい運動をするなど、人工的に同じ状況を作り、運動中の血液を採取してホルモンや生体の変化を調べました。検証の結果、スポーツ飲料の摂取により運動機能が向上する効果が認められたのです。今後は、この検証データを世界に発信する工程に進む予定です。(本研究は関西大学人間健康学部倫理委員会の承認を得て実施しています)

一方、体操づくりグループの生きがい研究班は、認知症予防に効果がある「堺コッカラ体操」に関する活動を行っています。音楽に乗せて簡単な動作を組み合わせることが可能なこの体操は、脳の活性化に有効です。関西大学と堺市で共同推進する地域連携事業としてこれまでに2本のDVDを製作し、市民に頒布しています。体操づくりだけでなく、社会貢献として普及活動にも協力し、年に4回定期講演を行う他、介護予防教室や市民向けリーダー養成講座の指導員として市の活動を手伝っています。

授業は実験が主体で、1カ月に1度全グループの研究データを持ち寄って報告会を行う他、文献を読んだり、ディスカッションをしたりしています。「研究はアイデアが勝負」という弘原海教授は、「答えをもっていないから一緒に探そう」と学生に伝え、まだ誰も見つけていない情報を提供しているのだとか。

2つのグループ以外に、口に含んで吐き出すことで飲むことと同等の効果が得られる液体のマウスリンスを研究するグループがあり、文献による調査や検証を進める中で、脳の背外側前頭前野の血流量が増える効果があることを発見。体操でも同部位が活性化することが分かっており、体操とマウスリンスを併用することで認知症予防における相乗効果が期待できると弘原海教授。今後は、高齢者用にスプレータイプを開発し、堺市と協力して広めていきたいそうです。

「研究を通して、互いに協力し合うチームワークの大切さを学んでほしいです。また、実験のテクニックだけでなく、実験の精度の高さや実直さも身に付けてほしい」と弘原海教授は語ります。何をしたいかまだ決まっていない学生が、好きなことを見つけ没頭できる、それが弘原海教授のゼミの魅力なのです。



#### 清田耕平さん(4年次生)

スポーツ飲料の研究に魅力を感じて選びました。ゼミ長としてグループをまとめる統率力が身に付いたと感じます。食品メーカーに内定しているので、今後は商品の説明だけでなく効果や機能性を説明できるようになりたいです。最先端の研究に触れることができるので、自分を成長させたい人に適していると思います。



#### 竹井亜衣さん(3年次生)

2年次の授業で「堺コッカラ体操」を知り、興味を持ちました。ダンスの経験を生かせるのがうれしいです。活動を通じてさまざまな人の話を聞くことができ、考え方の幅が広がりました。まだ目標が見つからない人や何をしたいか悩んでいる人にお勧めです。きっとやりたいことが見つかると思います。



#### 人間健康学部

#### 弘原海剛 教授

このゼミでは自分が好きなことを掘り下げていくことが可能です。興味を持てるものを発見し、研究の面白さに目覚めて、没頭してほしいと思います。研究はアイデア勝負であるとともに、自分のオリジナリティーを求めていくものです。地域や社会に貢献できるこの環境を十分に活用し、「研究の楽しさを最大限に楽しみたい」という人にぜひ参加してほしいです。





## 市民に開放して500回

### —関西大学飛鳥史学文学講座

日本の古代史の研究で他の追随を許さない関西大学の伝統は、奈良県明日香村の公民館でも絶えることなく受け継がれています。市民に開放された「飛鳥史学文学講座」。ここに北海道から九州まで幅広い層のファンが通い、2015年(平成27年)には受講者が10万人に達しました。2018年には開講回数が500回を突破します。大学が関与しこれほど息の長い市民向けの文学講座は他に類を見ません。

#### きっかけは極彩色の壁画

明日香村で最も有名な文化財は国宝の高松塚古墳壁画です。1972年(昭和47年)に関西大学の網干善教教授が見つけた日本で初めての彩色壁画でした。古墳内の石室にはしつこいが2~7ミリメートルの厚さに丁寧に塗られ、東西側壁、北壁と天井に色彩豊かな壁画が描かれています。丸い金箔で星を表し、朱線でつないだ星座がいくつも描かれ、東西側壁の中央上部に描かれる日月像は、金箔と銀箔を丸く貼って太陽と月を表しています。また、北壁と東西側壁の中央には空想上の動物「四神」が描かれていました。

#### 考古学ブームと連続講座

新発見の壁画が、考古学的、絵画的に優れていることが「世紀の発見」としてマスコミで大々的に報道された結果、全国的な考古学ブームが起きました。レンタサイクルに乗った家族連れなど、多数の見学者が飛鳥の史跡巡りを始めたのです。

このころ明日香村に中央公民館が完成しました。同時に関西大学では保護者組織である「関西大学教育後援会」が中心となって、高松塚古墳などの実績をもとにした史学と文学の連続講座を企画していました。

そこで当時の文学部横田健一教授、網干善教教授や教育後援会の森本靖一郎幹事長(のちの関西大学理事長)が公民館での講座開設を決断。広く全国の市民を対象に開くことになりました。



考古学ブームを巻き起こした高松塚の壁画  
(関西大学高松塚古墳壁画再現展示室)



講座には本学の芝井敬司学長も登壇

#### 手作りから出発、立見席も

最初は何もかも手作りでした。参加者に配る講座のレジュメは網干教授が徹夜でガリ版の原紙を切り、出来上がり次第、森本氏が当時の謄写版で手刷りして間に合わせるような具合でした。

全国的な史学ブームから、受講者は北海道から九州にまでおよび、立見席が必要なくらい盛況でした。講師も本学教員を中心に多彩で、最近では芝井敬司学長が「17世紀の日英関係の立役者、ジョン・セイリス」、藤田高夫文学部長が「飛鳥と古代の国際環境—古代東アジアから飛鳥をみる」と題して講演しました。また学外からも広く専門家を招いています。

2017年7月には宮内庁書陵部の陵墓調査官、徳田誠志氏が「F.シーボルトの持ち帰った『山陵図』—ライデン国立民族学博物館の調査から—」というテーマで話しました。この成果は全国紙でも紹介されたほどです。

第500回の記念講演は2018年6月10日(予定)です。



講座が開かれている明日香村中央公民館





外国語教育学研究科 博士課程前期課程2年次生

# 濱地 亮太さん

縁あって選んだ別の道で、新たな目標に出会いました。

通訳を目指して関西大学外国語学部に入學した濱地亮太さんは、Study Abroadプログラム(アメリカ、中国、オーストラリアなどの提携大学に、1年間留学する外国語学部必修の留学プログラム)でアメリカのユタ州に留学しました。帰国後は通訳の道ではなく、自分に合った進路を模索することに。塾でチューターのアルバイトを経験したことをきっかけに、英語教育という新しい分野と出会います。「第二言語習得論」のゼミでは学習方法の有効性について理論的に学びました。ゼミ生は濱地さん1人だったため、指導教員と密度の濃い学びの時間を得ることができたそうです。濱地さんの性格を理解し、時に厳しく、時に丁寧に指導してくれる教員との出会いは「縁だった」と言います。その教員の下で「学問を突き詰めたい」という気持ちが強まり、大学院への進学を決めました。

中学・高校の6年間に英語を勉強するものの、英語を話せない人が多い実情に疑問を感じていた濱地さん。昔から「一から物やサービスを作りたい」という思いも強く、英語教育の課題を解決する一助として「ゲーム要素のあるコミュニケーション活動」を考案。ゲームを通して英語を話す機会を増やし、弱点を見つけて克服する手助けをするものです。修了制作では、これまでの研究成果の集大成となる「アクティブラーニングで使える高校英語授業のための活動集」を制作中です。

「課題を見つけ、計画を立てて解決する」のが得意という濱地さんにはこんなエピソードも。学部生時代に所属していた映画研究部の定期上映会の観客は、10人程度でした。当時、1年次生だった濱地さんは「3年次には1,000人集める」という目標を立てると、渉外部長として他大学の集客法を学んだり、情報誌を発行したり工夫と努力を重ねて、見事に達成します。

課題解決力と行動力という強みを生かして、経営コンサルタント会社への就職を決めた濱地さん。「社会人経験を積み、教育関連に強いコンサルタントになり、学校教育に外部から関わりたい。そして、将来は教育業界で事業を起こしたいです」と熱く夢を語りました。最後に「目標が変わったことで視野が広がり、結果的に現在につながって良かった。たとえ進む道が変わったとしても、新しい可能性を追求することが大切だと思います」と締めくくりました。



ユタ州のアーチズ国立公園にて

今回は、濱地さんからのご紹介で富永悠奏さん(総情3)が登場。お楽しみに!



# Ryota Hamachi



# 学部・研究科ピックアップ

## 法学部／法学研究科

### 定期試験

1月は、定期試験の時期です。単位が取れるかどうかで不安になる学生も少なくないと思います。私は、学部生の時代にさほど授業に出席せず、試験前に必死に勉強していたので、偉そうなことは言えません。しかし、教える立場になってから分かったのは、①授業に出席してノートを取り、②先生が強調するところをメモしておき、③時間の余裕があるときにそこを復習すれば十分だということです。それができていないのなら、昔の私のように今ががんばってください。

(学生主任 福島豪准教授)

## 文学部／文学研究科 東アジア文化研究科

### 居ながら留学＝サイバーレクチャー

本研究科では2008年以降、「文化交渉学概論」の授業を、毎月1回、北京外国語大学、北京大学、社会科学院等の著名な先生方により北京からテレビ会議システムを利用したサイバーレクチャー（遠隔講義）として行っています。まさに、日本に居ながら中国における人文学研究の最前線の講義を受けられるわけであり、院生の研究に裨益すること大です。

(東アジア文化研究科 東西学術研究所長 内田慶市教授)



## 経済学部／経済学研究科

### 学内ゼミナール大会の開催！

11月22日に「第53回経商合同学内ゼミナール大会」を開催しました。経済学部の研究発表部門と商学部のプレゼンテーション部門とを同一会場で実施する経商合同部門、討論部門での2年次生と3年次生の対戦、4年次生による卒業研究部門などの参加機会が新設され、40以上のゼミが日頃の成果を披露しました。ゼミ活動紹介という要素が強い2年次生による発表部門に、来年度春学期にゼミ応募を控えた1年次生が多数詰め掛けたのも、今回の特徴の一つです。学生同士が互いに競い合い伝え合う研さんの場として、貴重な機会となりました。

(教学主任 佐藤雅代教授)

各学部・研究科のさまざまな活動や取り組みなど、トピックスや皆さんへのメッセージをお届けします。

## 商学部／商学研究科

### 公認会計士試験、商学部3年次生5人、4年次生2人在学中合格！

平成29年公認会計士試験の合格発表が11月に行われ、商学部3年次生5人、4年次生2人が在学中合格、卒業生8人が見事に合格しました(合格率11.2%)。商学部では、入学時から簿記・会計教育に力を入れており、CPA説明会、簿記コンテスト、答案練習会などを実施し、今後も積極的な支援をしていきます。

(岡照二准教授)



## 社会学部／社会学研究科

### 卒業論文の要旨集・優秀論文集

社会学部を卒業するためには、必ず卒業研究レポート(卒業論文)を提出しなければなりません。今年度秋学期は11月11日・12日が提出日でした。また、社会学部では、毎年、卒業論文要旨集(社会学専攻・心理学専攻・社会システムデザイン専攻)・優秀論文集(メディア専攻)を発行し、卒業式の日に配布しています。在学生の皆さんも閲覧できますので、社会学部生の研究成果が収められた要旨集・優秀論文集をぜひ手に取ってみてください。

(教学主任 橋本理教授)

## 政策創造学部／ガバナンス研究科

### 「地域政策コーディネーター養成講座」(履修証明プログラム)

ガバナンス研究科では、学校教育法に定められた「履修証明制度」に基づく講座として、「地域政策コーディネーターを養成する大学院プログラム」を、4月から梅田キャンパス「KANDAI Me RISE」で開設します。梅田キャンパスは社会人向けの生涯教育拠点であり、その趣旨に沿った社会貢献事業の一つです。本プログラムでは、地域におけるさまざまなステークホルダー間の利害を調整しながら、地域問題の解決策を主体的に提言できる人材育成を目的としています。

(副学部長 石田成則教授)

## 外国語学部／外国語教育学研究科

### お帰りなさい、行ってらっしゃい

毎年この時期になるとほぼ1年間のSA過程を終了して戻って来た学生とSA開始を目前にドキドキワクワクしている学生で学部全体がざわつき始めます。例年2月に開催されるSA報告会では、1年間の過程を経てひと回りもふた回りも大きくなった2年次生と、不安と期待で複雑な面持ちの1年次生が一堂に会して、SAという共通テーマを軸に有意義な交流が繰り広げられます。戻ってきた学生には無事に終了できたことをことほぎ、出掛ける学生には病気、事故のないことをあらためて心から祈る場でもあります。

(玄幸子教授)

## 人間健康学部／人間健康研究科

### 失敗する練習

2015年のラグビーワールドカップで日本の大活躍を引き出したエディー・ジョーンズヘッドコーチの言葉です。「日本の練習で最も良くないのは、ミスをしないうにやろうとすることです。でも本番ではミスで自滅するのです。人間はミス(失敗)から学びます」。練習ではできないことに挑戦して、ミスを重ねて、ミスする論理を手の内に入れるということです。いわば失敗する練習です。人間とは何か。人間健康学部生は今日もスポーツを通じて大切なことを学んでいます。

(小田伸午教授)

## 総合情報学部／総合情報学研究科

### 2018年春の情報機器の更新

今年度も春季休業中に情報機器の更新を行います。C棟スタジオ棟3階の教室に設置されているコンピュータ機器および関連するサーバ関係機器が更新の対象になっています。今年度の更新によって、スタジオ棟のほとんどのコンピュータ機器が刷新されることとなります。現在、3階の教室では仮想化技術を使った複数OSの利用ができるようになっていますが、更新後の複数OSの利用は異なる形態で提供する予定で、それぞれのOSの利用開始までの処理が簡略化され、性能向上が期待されています。

(教学主任 小林孝史准教授)

## 社会安全学部／社会安全研究科

### これぞ「社安」、学生ブログ開設

皆さん、ご存じでしたか。社会安全学部は、学生たちからは「社安(しゃあん)」の名で親しまれていますが、ついにその愛称を、オフィシャルな広報活動でも積極的に活用していくことになりました。その一環として、すでに「社安生(しゃあんせい)」のブログページが開設されています。全国各地でフィールドワークを展開している学生たちの活躍ぶりや、実験や実習に打ち込んでいる学生たちの奮闘ぶりなどを、学生自身の手でPRしています。ぜひ一度、ご覧ください！

(近藤誠司准教授)

## 専門職大学院トピックス

### 臨床心理専門職大学院

#### 心理職の新たな国家資格 (2)

2017年度も半ばを過ぎ、2016年度修了生たちから臨床心理士資格試験の第1次筆記試験結果の報告が届いてきています(11月現在)。この通信が発行される頃には、最終試験の結果も出ており、うれしい便りがたくさん届くだろうと期待しています。

ところで、2018年秋には、心理職としての初めての国家資格である公認心理師の記念すべき1回目の試験が行われる予定です。2018年春に予定されている現任者講習会を受けることができれば、私自身も国家試験に挑戦することになりそうです。修了生たちと机を並べて国家試験に臨むことには照れくささや恥ずかしさもありますが、「一心に受験勉強をしていく」という過程に新鮮さも覚えているところです。

(阿津川令子教授)

## 併設校トピックス

### 関西大学中等部

#### カナダ研修旅行を実施しました

今年度も10月12日～20日の9日間の日程で中等部3年生がカナダ研修旅行を実施しました。この研修旅行は観光だけでなく、バンクーバー市内での生徒によるフィールドワークや、場所をビクトリアに移して、一人一家庭でのホームステイや現地校での交流を行うなど、盛りだくさんの内容です。参加した生徒たちからは渡航前には不安な声を漏らしていたものの、帰国直前になると「やっとカナダに慣れてきたのに」と頼もしい声が聞こえていました。

(教頭 森岡啓)



## システム理工学部・環境都市工学部・化学生命工学部／理工学研究科

### 「抱負」を立て「目標」達成する

年が明けると昨年を振り返り不摂生な生活を送ったことや勉強・部活で思うような成果が残せなかったことなどを後悔し、年初めに今年こそは！と気持ち新たに「抱負」や「目標」を立てる人も多いことでしょうか。さてここで「抱負」と「目標」の違いとは何でしょうか。「抱負」とは、心の中に抱いている決意や志望とあります。例えば、授業中に分からないことがあればその日のうちに復習して理解するなどでしょうか。一方、「目標」とは行動を進めるにあたって、実現・達成を目指す水準とあり、例えば、今学期こそはフルで単位をそろえるなどですね。さて、前振

りが長くなりましたが、いよいよ定期試験の時期がやってきます。本年度は、1月16日から到達度の確認、1月23日から定期試験が始まります。試験前だけでなく毎日勉強して(抱負)、良い成績で単位を修得すること(目標)を目指してください。また、2月には学部4年次生の卒業研究発表会、大学院生は修士論文発表会が行われます。この発表会のために4年次生は1年間、大学院生は学部の研究も加えると3年間の成果を発表します。一方、学部3年次生は、4月から正式に研究室に配属され特別研究を進めていくことになると思いますが、より良い成果を残すためには、具体的に困難な「目標」を立てる方

が良いと言われています。まだ本格的な研究が始まっていないので難しいですが、理工系の学部に入学したのですから、研究室に配属されたらその分野に足跡を残すくらい大きな「目標」を設定してみたいかがでしょうか。そのためにも、今からそれにつながるような強い気持ちで「抱負」を立てることをお勧めします。

(化学生命工学部入試主任 梅田壘准教授)

## Attention 大学からの重要なお知らせ

### 春季休業期間中の注意事項

—有意義な春休みを過ごすために—

秋学期試験が終了すると春季休業に入ります。

学生の皆さんは、サークルやアルバイト、国内外への旅行など行動の範囲が今まで以上に広がることでしょうか。しかし、同時にこの時期は、日常生活からの解放感とそれに伴う気の緩みが相まって、さまざまなトラブルに遭遇しやすくなる時でもあります。貴重な春休みを有意義に過ごし、新学期または新生活を迎えるよう特に次の点に注意するようにしてください。

#### 悪質商法に注意！

昨今、全国各地の大学生の間で実際は何の価値もない商品やサービスを高額で購入させる悪質商法(ネットワークビジネスなど)が流行しています。たとえ親しい友人や知人から勧誘を受けても、少しでも怪しいと感じたら安易に応じないようにしてください。

#### 関大生としての自覚を忘れずに！

サークルやゼミ、親しい友人らとの旅行やコンパなどを開催した際は、周囲の人々や環境への配慮を怠らないでください。誰か一人の軽薄な行為によって、大学の名誉や信用を失墜させる事態を招く場合もあります。関大生としての自覚を忘れず、良識ある行動を心掛けるようにしてください。

#### 薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

大麻や覚せい剤といった違法薬物はもちろん、脱法ハーブや合法アロマリキッドなどの「危険ドラッグ」を安易に使用などすることは絶対にしないでください。あなた自身の健康や健全な学生生活を守るためにも、薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」



## 関大トピックス

### 「関西大学まちFUNまつり2017」を開催

千里山キャンパスで12月10日、NPO法人関西大学カイザースクラブおよびNPO法人ママいあん関西、ミズノ株式会社との共催で、地域とつながるイベント「関西大学まちFUNまつり2017」を開催しました。本イベントのコンセプトは、吹田地域を中心としたコミュニティ活性のためにキャンパスを開き、市民と共に「つながる場」を創造することで、今年開催3年目を迎えました。

当日は、「スポーツ体験」や「サイエンスショー」、「子ども店長」をはじめ、今年初登場の「ミズノ流忍者学校」などさまざまなイベントを実施。キャンパス内は子どもを中心に、総勢約6,500人の笑顔であふれました。



### 政策創造学部創立10周年記念シンポジウムを開催

千里山キャンパスで12月14日、政策創造学部創立10周年記念シンポジウム「大阪—現代都市問題の課題と展望」を開催しました。政策創造学部は2017年4月に創立10周年を迎えました。開会式辞では、同学部長の小西秀樹教授が感謝の言葉を述べ、芝井敬司学長、池内啓三理事長が祝辞を贈りました。

第1部の講演では、鈴木亘氏(学習院大学・経済学部教授)および佐野章二氏(ビッグイシュー日本代表・CEO)が登場。第2部では、両氏に加え岡本哲和教授、白石真澄教授をパネリストとして討論会を実施。副学部長の石田成則教授による司会のもと、活発な議論が展開されました。



### 関西大学協賛「第7回大阪マラソン2017」を開催

11月26日に「第7回大阪マラソン2017 みんなでかける虹。」が開催されました。第1回大会からオフィシャルスポンサーとして大会運営に協力している本学からは、オリジナルウェアを着用した40人のランナーが力走。

また、「大阪マラソンの一員として大会を盛り上げたい」という共通の思いのもと集まった関大ボランティアは約500人にのぼり、給水活動をはじめ、英語・中国語での会場案内、チャリティー募金の呼び掛け、清掃活動などそれぞれの持ち場で業務にあたりました。さらに、コースの沿道では応援パフォーマーとして約100人の学生が躍動。関西大学応援団や学生団体のJAZZ研究会、ダブルダッチ会Mix Package、お祭りダンスサークル「漢舞」、フラダンスサークル“coco girl”が、「ランナー盛上げ隊!」として熱く楽しい応援パフォーマンスを繰り広げ、大会に彩りを添えました。



### 体育会馬術部が、第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会の団体の部で3年ぶりの優勝

11月3日から4日に兵庫県・三木ホースランドパークで開催された第67回全日本学生賞典障害馬術競技大会、団体の部で体育会馬術部が3年ぶりに優勝を果たしました。

また、同会場でも6日から7日に行われた第60回全日本学生賞典総合馬術競技大会の団体の部でも3位となり、この結果を含めた総合成績(平成29年度全日本学生馬術大会3種目総合)で、馬術部は2位となりました。



写真提供: 関大スポーツ編集部

### 体育会サッカー部が全日本大学サッカー選手権大会で3位入賞

12月21日、埼玉県・さいたま市NACK5スタジアム大宮にて行われた第66回全日本大学サッカー選手権大会において、体育会サッカー部が7年ぶりに準決勝に進出し法政大学と対戦しました。試合は1-1の同点で延長戦に突入しましたが決着がつかず、PK戦の末に2-4で涙を飲む結果となり、3位で本大会を終えました。



写真提供: 関大スポーツ編集部

## 関大人 四方山話 ◆「“University”の語源って…?」初等部・中等部・高等部事務室次長 堀田有香

よもやまばなし



新年を迎え、澄み渡った空気がより一層心地良い季節の到来ですね。青空に白い月が美しく浮かぶ様子を、高層校舎の窓から眺めるのが私の気に入りの気分転換法です。大空のはるかかなたに連綿と続く宇宙の果てに思いをはせると、人類の英知を超える神秘を感じずにはいられません。宇宙は138億年前に誕生し、その大きさは半径450億光年、われわれの住む銀河だけで2,000億個の星があり、宇宙全体には1,000億個の銀河があるそうですね。もはや意味不明、途

方もない数字です。これを地球規模で身近に考えると、高校時代の地理と歴史に例えられるでしょう。広大な地球の中で日本という国の、縄文時代でも戦国時代でもなく昭和に生まれ平成を生きることは、ほとんど奇跡的なこと。私たちは何と幸せな存在なんだろう! そんな風に考えると、日々のささいな出来事も、ちっぽけに感じてしまいますよね。青空にぽっかり浮かぶ白くて美しい月に見とれながらレミオロメンの名曲を口ずさむと、とても心が軽くなります。お勧めですよ。

## 編集後記

本学の一般入試(2月)の日程最終日の翌日の2月9日に、本号で特集した平昌冬季オリンピックが開会式を迎えます。スキー、スノーボードやスケートにはじまり数々の競技でのわが国の選手の活躍が期待されています。ゆりやんレトリィバァさんや受験生にとっては滑りは絶対に禁物ですし、現役関大生にも定期試験や就職活動での滑りは何が何でも避けてほしいところですが、みんなの踏ん張った分、代表選手の皆さんにはぜひとも思う存分滑ってもらってその華麗な姿で世界中の人が魅了されることを願いたいですね。(広報副委員長・法学部教授 笹本幸祐)



## 関西大学通信 “KANDAI STYLE”

発行日:2018年1月24日(年9回発行)  
発行:関西大学広報委員会  
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35  
電話:06-6368-1121(大代表)

表紙・特集 写真提供: 共同通信社